

第1回生活充実講話(情報モラル)

平成31年4月10日(水)実施

毎年、1年生を対象に「情報モラル」をテーマに講演会を実施している。普及したスマホの便利さの裏で多発している犯罪や、個人情報漏洩、不用意な書き込みによるトラブル等を起こさない、巻き込まれない方法について学んだ。また、スマホの長時間利用が学習や生活へ悪影響を及ぼすことも学んだ。

1 講師 NTTドコモCS東海

水谷 安希穂(みずたに あきほ)氏

2 演題 講演「ケータイ安全教室」

3 内容

講話の前半では、「SNSで気を付けること」について様々な例を出しながら解説していただいた。個人情報を載せなくても写真や様々な書き込みから個人が特定される恐れがある事や、インターネット上で知り合った人は簡単に信じない事、軽い気持ちや冗談のつもりでモラルに反した行動やその写真をアップしない事などを学んだ。

後半は、ラインなど文字によるコミュニケーションツールを使用する場合、言葉の受け止め方の違いから生じる誤解が、他人を傷つけたり、いじめや事件にまで発展したりする危険性があることも学んだ。

最後に、主にスマホの長時間利用に伴う問題について学んだ。スマホによってなくすのは、睡眠時間と勉強時間であり、スマホ依存が進学等の進路にまで影響する危険性があることを学んだ。

他人に迷惑をかけないという意識を持ち、フィルタリングサービスを利用し、トラブルがあったら大人に相談することを忘れず、責任を持ってスマホやインターネットを利用することが大切であると分かった。

4 生徒の感想 (感想の一部を抜粋しています)

- 今回の講話で、スマホの使い方を間違えると自分が加害者にも被害者にも成り得るのだということを実感しました。よく考えて行動することが大切だと思いました。
- 家庭におけるスマホの使い方をあらためて考えなおしたいと思います。時間の制限を設けずに使い始めると、生活のリズムに悪影響を与えるということがよく分かりました。
- スマホを通じた情報発信については、あまり深く考えたことがありませんでしたが、投稿した写真から簡単に住所を含めた個人情報が流出してしまうことがあると知り、良く考えて行動しなければ、とんでもないことになるのだということが分かりました。フィルタリングサービスもうまく利用していきたいと思います。

